

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670103417		
法人名	医療法人天陽会		
事業所名	グループホームさくらじま		
所在地	鹿児島市野尻町49-1		
自己評価作成日	平成23年9月10日	評価結果市町村受理日	平成24年1月12日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	県ホームページより
----------	---------------------------

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 社会保障制度活用支援協会		
所在地	鹿児島県鹿児島市城山一丁目16番7号		
訪問調査日	平成23年10月18日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

桜島という大自然の中に建てられ自然とのふれあいを大切にしている。施設内はゆったりとした開放感のあるつくりである。また、病院に隣接していることで、医療面の充実した支援が受けられる。ホーム内での委員会活動があり、それぞれがサービス向上の為に活動を行っている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

桜島や錦江湾という大自然に包まれた地に、ホームは建てられている。職員は、利用者の良き「パートナー」として、笑顔あふれる毎日が送れるようにケアにあたっている。ホーム内の清掃が行き届いており、清潔感がある。隣には母体病院もあり、医療面での充実が図られ、利用者や家族も安心している。管理者及び全職員が一体となり、介護に対する意識も高い。全職員が委員会に所属し、勉強会や研修会などを通じ、介護技術の向上に日々努めている。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価しますV. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目)

項目項目	↓該当するものに○印 の成果	項目項目	↓該当するものに○印 の成果
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63 めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19) 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、活き活きと働けている (参考項目:11,12)職員は、活き活きと働けている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	日常的に理念を意識したサービスが実践できるようリビング内に大きく理念を掲げている。	「人との繋がりを大切に」などの言葉を含んだ新しい理念を広報誌やリビングなどに掲示している。月1回のミーティング時に、理念を共有し実践している。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	近隣の児童養護施設との交流会を継続し地域の運動会等にも参加させて頂いている。	ホームは、民生委員より地域情報を収集し、運動会や文化祭、学習発表会などの地域行事に参加するなどして、地域とのつながりを大切にしている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	民生員さんの会合や地域内の小中学校の職場体験等を通じて認知症への理解を深めていただいている。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	利用者の状況報告や事業所での出来事など現状をありのままに報告し様々な意見を取り入れながらサービスの向上に努めている。	会議は、2ヶ月毎開催され、サービス担当者会議に家族出席を求めるなどサービス向上に繋げている。事業所の入所者状況、行事・研修報告等については、議事録によりよく記載されている。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者とは日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	運営推進会議への参加を頂いたり、毎年の相談員の受け入れ等で協力体制を計っている。	地域包括支援センターや市担当者とは、運営推進会議や広報誌の配布、事例相談などを通じ、協力関係を築いている。介護相談員来訪時に、食事形態の対応についての意見があり、サービス向上に取り組んでいる。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	定期的な勉強会を実施し、事業所内の介護の現状について振り返りながら身体拘束のないケアに努めている。	職員は、マニュアルを基に、身体拘束についての研修や月2回のケア検討会で職員の都合で行動の制限をしないなど自由な暮らしを実現している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	勉強会を実施し入浴時の全身状態のチェックや看護師による定期的な健康チェックをもとに身体状況の確認が相互に行えるよう注意を払っている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	包括支援センターの職員による勉強会を開催し、生活自立支援事業や成年後見制度についての知識の習得に努めて、入居者も成年後見保佐人を利用している。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又はや改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	利用契約書や重要事項説明書などの書面を用意し利用者や家族の納得を頂けるよう十分な説明を行っている。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	面会時に職員との懇談会を設けたり、運営推進会議へも毎回交代で家族参加をもらい忌憚のない意見等を頂けるよう工夫している。	ホームは、月1回各利用者向けの便りの発行や利用者の状態を家族等に伝えている。ホームは、面会時や家族会、家族交代制で運営推進会議に出席してもらうなど要望を聞いて運営に反映している。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月1回のミーティング時に運営や業務に関する意見、提案を聞き検討、改善に努めている。	管理者は、月1回のミーティングや個人面談時に職員の意見を聞ける場を設けている。日誌の書式改善や職員の増員など運営やケアに反映させている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	半期に1度人事考課を行い勤務状況についての振り返りの機会としている。又、不定期ではあるが施設長との個人面談等を行っている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	教育研修委員会が年間計画に沿った勉強会を毎月実施し、スキルアップ研修などの外部研修にも積極的に参加している。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	合同で運動会を実施するなど交流の機会を設け、利用者への関わり方など相互に情報交換できるよう取り組んでいる。		

自己	外部	項目	自己評価		外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容	
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援						
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	地域へのドライブに誘ったり、ホーム内での役割決めやレクリエーションへの参加で徐々に馴染みの関係が築けるよう声かけしている。地域へのドライブに誘ったり、ホーム内での役割決めやレクリエーションへの参加で徐々に馴染みの関係が築けるよう声かけしている。地域へのドライブに誘ったり、ホーム内での役割決めやレクリエーションへの参加で徐々に馴染みの関係が築けるよう声かけしている。			
16		○初期に築く家族等との信頼関係○初期に築く家族等との信頼関係○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	電話でのお知らせや、面会時に職員との懇談の場を設け、利用者の現状報告とご家族からの要望を聞いている。電話でのお知らせや、面会時に職員との懇談の場を設け、利用者の現状報告とご家族からの要望を聞いている。電話でのお知らせや、面会時に職員との懇談の場を設け、利用者の現状報告とご家族からの要望を聞いている。			
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	情報提供書などをもとに、本人の身体状況などの把握に努め、本人の意思を確認した上で必要なサービス、リハビリ等の利用も支援している。情報提供書などをもとに、本人の身体状況などの把握に努め、本人の意思を確認した上で必要なサービス、リハビリ等の利用も支援している。情報提供書などをもとに、本人の身体状況などの把握に努め、本人の意思を確認した上で必要なサービス、リハビリ等の利用も支援している。			
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	朝の清掃や食事の支度、洗濯など一緒にするだけでなくレクリエーションやテレビなどの囲らんも大切にしている。朝の清掃や食事の支度、洗濯など一緒にするだけでなくレクリエーションやテレビなどの囲らんも大切にしている。朝の清掃や食事の支度、洗濯など一緒にするだけでなくレクリエーションやテレビなどの囲らんも大切にしている。			
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	年3回の家族会参加の呼びかけや懇談会、必要時の電話連絡などで情報交換し利用者と共に支えていく関係を築いている。年3回の家族会参加の呼びかけや懇談会、必要時の電話連絡などで情報交換し利用者と共に支えていく関係を築いている。年3回の家族会参加の呼びかけや懇談会、必要時の電話連絡などで情報交換し利用者と共に支えていく関係を築いている。			
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	電話での会話や本人の望む場所への個別外出などを実施し、受診やリハビリの際にも地域の方との会話を楽めるよう支援している。電話での会話や本人の望む場所への個別外出などを実施し、受診やリハビリの際にも地域の方との会話を楽めるよう支援している。電話での会話や本人の望む場所への個別外出などを実施し、受診やリハビリの際にも地域の方との会話を楽めるよう支援している。	馴染みの人や場については、本人や家族、知人により把握している。家族へ電話をかけた後、墓参りや見舞いなど個々に応じて支援している。通院時に昔からの知人と会話ができる機会も大切にしている。馴染みの人や場については、本人や家族、知人により把握している。家族へ電話をかけた後、墓参りや見舞いなど個々に応じて支援している。通院時に昔からの知人と会話ができる機会も大切にしている。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者が同士の関わり合い、支え合えるような支援に努めている	個室に引きこもることなく出来るだけ共有のリビングで過ごせるよう声かけレクリエーションなども相互に関われるよう時々席を替えたりしている。個室に引きこもることなく出来るだけ共有のリビングで過ごせるよう声かけレクリエーションなども相互に関われるよう時々席を替えたりしている。個室に引きこもることなく出来るだけ共有のリビングで過ごせるよう声かけレクリエーションなども相互に関われるよう時々席を替えたりしている。			

自己	外部	項目	外部評価	
			自己評価 実践状況	実践状況 次のステップに向けて期待したい内容
22		<p>○関係を断ち切らない取組み</p> <p>サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。</p>	<p>入院などで退所になった利用者様については職員がその後の状況をご家族に電話等で尋ねたりお見舞いに行ったりしている。入院などで退所になった利用者様については職員がその後の状況をご家族に電話等で尋ねたりお見舞いに行ったりしている。</p>	
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメントⅢ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
23	(9)	<p>○思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>日常の会話の中や検討会等で利用者の思いと現状について話し合い出来るだけ本人の意向に沿ったケアの実践を目指している。日常の会話の中や検討会等で利用者の思いと現状について話し合い出来るだけ本人の意向に沿ったケアの実践を目指している。</p>	<p>職員は、利用者との日々の関わりの中で本人の意向や思いを把握し、月2回のケア検討会などで情報を共有し、本人の意向を尊重した支援が出来るように努めている。職員は、利用者との日々の関わりの中で本人の意向や思いを把握し、月2回のケア検討会などで情報を共有し、本人の意向を尊重した支援が出来るように努めている。</p>
24		<p>○これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>サービス提供の中で感じた疑問等については、本人や家族に尋ねながらこれまでの暮らし方、生活環境の把握に努めている。サービス提供の中で感じた疑問等については、本人や家族に尋ねながらこれまでの暮らし方、生活環境の把握に努めている。</p>	
25		<p>○暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている</p>	<p>バイタルチェック表や介護記録には職員全員が必ず目を通し利用者の心身状況の現状把握に努めている。バイタルチェック表や介護記録には職員全員が必ず目を通し利用者の心身状況の現状把握に努めている。</p>	
26	(10)	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>検討会やサービス担当者会議を開催し、本人や家族からの要望等を踏まえた介護計画書の作成を行っている。検討会やサービス担当者会議を開催し、本人や家族からの要望等を踏まえた介護計画書の作成を行っている。</p>	<p>本人や家族の意向を基に、月2回のケア検討会やサービス担当者会議で話し合い介護計画を作成している。モニタリングは、6ヶ月毎に管理者・計画作成担当者が見直しをしている。本人や家族の意向を基に、月2回のケア検討会やサービス担当者会議で話し合い介護計画を作成している。モニタリングは、6ヶ月毎に管理者・計画作成担当者が見直しをしている。</p>
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>介護日誌に日々の心身状態、気付きを解りやすく記入。それぞれの担当者が月別の経過表を作成小さな変化や問題がわかりやすいよう工夫し、評価、介護計画の見直しに生かしている。介護日誌に日々の心身状態、気付きを解りやすく記入。それぞれの担当者が月別の経過表を作成小さな変化や問題がわかりやすいよう工夫し、評価、介護計画の見直しに生かしている。</p>	
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>必要に応じて居宅支援事業所や介護事業所との意見交換を行い、適切な介護サービスの提供が出来るよう努めている。必要に応じて居宅支援事業所や介護事業所との意見交換を行い、適切な介護サービスの提供が出来るよう努めている。</p>	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域ボランティアの受け入れや地域運動会、文化祭への参加等楽しみを持てるよう支援し、駐在所や消防分遣隊との協力関係も築いている。地域ボランティアの受け入れや地域運動会、文化祭への参加等楽しみを持てるよう支援し、駐在所や消防分遣隊との協力関係も築いている。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	隣接した病院での定期受診のほか、緊急時などは、ご家族と協力し主治医、専門医などその都度適切な受診が行えるよう支援している。	利用者や家族の希望するかかりつけ医になっている。同敷地内にある病院へ月2回の定期受診をすることで利用者の状態が確認でき、家族も安心している。受診結果は、ホームより家族へ説明している。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	週1回、看護師による利用者の問診を実施、バイタルチェック表の記録をもとに身体状況についての相談を行い日常的な健康管理が来ている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	利用者の入院時には、書面で心身の状態報告を行いその後についても相互の情報交換に努めている。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	いつでも医師や看護師に相談できる体制が整えられており、出来るだけ本人や家族の希望に添えられるよう支援している。	重度化・終末期のケアについては、入居時より本人や家族と話し合い、指針や意思確認書を交わしている。入居継続については、医師の判断等も踏まえ対応している。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	消防機関の協力で職員は普通救命講習を受講。緊急対応マニュアルを常備し定期的な勉強会を開催している。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回は火災避難訓練を実施し、噴火を想定した防災訓練に参加、災害に対する勉強会等も行っている。	年2回(昼・夜)、消防署の指導の下に、火災訓練を実施している。島人全体の防災訓練や桜島噴火時の避難方法などの勉強会で地域特有の訓練が行われている。自主訓練や非常災害に対しての備えについて、十分とは、言えない。	非常災害時の備蓄品の確保や自主訓練を実行することでさらに利用者を安全に避難できること期待します。

自己	外部	項目	外部評価		
			自己評価 実践状況	実践状況 次のステップに向けて期待したい内容	
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	ゆっくりと優しい声かけを実践できるよう職員相互に注意を払っている。排泄等についてもプライバシーを侵害しない様心掛けるようになった。	職員は、日々の声掛けや入浴・トイレ介助時のプライバシーを損ねない接し方に努めている。認知症・プライバシーの研修については、書類確認に至っていない。	認知症・プライバシーの研修記録を保管し、事例検討会を開催するなど全職員が日々のケアに反映できることを期待します。
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	個々の理解力に合わせた言葉かけや傾聴を心掛け物事選択の場面では出来るだけ本人の自己決定が出来るよう支援している。個々の理解力に合わせた言葉かけや傾聴を心掛け物事選択の場面では出来るだけ本人の自己決定が出来るよう支援している。個々の理解力に合わせた言葉かけや傾聴を心掛け物事選択の場面では出来るだけ本人の自己決定が出来るよう支援している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	例えば夜遅くまでのテレビ視聴等、本人のこれまでの生活のリズムを崩すことのないよう、希望にそって支援をしている。例えば夜遅くまでのテレビ視聴等、本人のこれまでの生活のリズムを崩すことのないよう、希望にそって支援をしている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援しているその人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援しているその人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	手の届くところに手鏡を置いたり、特に外出時には衣服や髪の乱れがないか注意を払っている。また、その日着用する衣服は本人に選んでいただいている。手の届くところに手鏡を置いたり、特に外出時には衣服や髪の乱れがないか注意を払っている。また、その日着用する衣服は本人に選んでいただいている。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	見た目も彩りよく、食材の大きさも個々に工夫している。また、野菜の下ごしらえや食器の片付け・台拭きなど出来る範囲で手伝いをお願いしている。見た目も彩りよく、食材の大きさも個々に工夫している。また、野菜の下ごしらえや食器の片付け・台拭きなど出来る範囲で手伝いをお願いしている。	自家菜園の旬の食材を活かしたり、利用者の食事動作や能力に合わせて対応している。弁当持参で魚釣りに出かけたり、誕生日には、手作りケーキでお祝いするなど食事を楽しむ工夫が出来ている。自家菜園の旬の食材を活かしたり、利用者の食事動作や能力に合わせて対応している。弁当持参で魚釣りに出かけたり、誕生日には、手作りケーキでお祝いするなど食事を楽しむ工夫が出来ている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	毎日、食事や水分の摂取量を記録し管理している。特に水分摂取においては、単調にならないようにジュース・紅茶・コーヒー等好みの飲み物を提供している。毎日、食事や水分の摂取量を記録し管理している。特に水分摂取においては、単調にならないようにジュース・紅茶・コーヒー等好みの飲み物を提供している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後ではないが、就寝時は必ず口腔ケアの声かけ・介助をし、義歯使用の方には義歯洗浄剤を使用してもらっている。毎食後ではないが、就寝時は必ず口腔ケアの声かけ・介助をし、義歯使用の方には義歯洗浄剤を使用してもらっている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援○排泄の自立支援○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	個々の生活リズムに合わせたトイレ誘導を行い、本人の力量に合わせ出来ない部分を介助するよう心掛けている。個々の生活リズムに合わせたトイレ誘導を行い、本人の力量に合わせ出来ない部分を介助するよう心掛けている。個々の生活リズムに合わせたトイレ誘導を行い、本人の力量に合わせ出来ない部分を介助するよう心掛けている。	バイタルチェック表で個々の排泄パターンを把握し、トイレへ誘導している。排泄の自立に向けて、リハビリパンツ内の放尿からトイレでの排泄が可能になった人もいる。バイタルチェック表で個々の排泄パターンを把握し、トイレへ誘導している。排泄の自立に向けて、リハビリパンツ内の放尿からトイレでの排泄が可能になった人もいる。バイタルチェック表で個々の排泄パターンを把握し、トイレへ誘導している。排泄の自立に向けて、リハビリパンツ内の放尿からトイレでの排泄が可能になった人もいる。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排泄の記録をもとに、毎朝の牛乳の飲用や食事による自然な排便が出来るように予防に取り組んでいる。排泄の記録をもとに、毎朝の牛乳の飲用や食事による自然な排便が出来るように予防に取り組んでいる。排泄の記録をもとに、毎朝の牛乳の飲用や食事による自然な排便が出来るように予防に取り組んでいる。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	本人の体調に合わせて週3回以上は入浴できるようにし、本人希望の時間帯に実施している。本人の体調に合わせて週3回以上は入浴できるようにし、本人希望の時間帯に実施している。	入浴は、日曜日以外の午後を予定しているが、利用者の希望や体調に添って、週3回以上の支援が出来る。入浴拒否の利用者には、時間帯を変えて声掛けをし、定期的に入浴が出来るように取り組んでいる。入浴は、日曜日以外の午後を予定しているが、利用者の希望や体調に添って、週3回以上の支援が出来る。入浴拒否の利用者には、時間帯を変えて声掛けをし、定期的に入浴が出来るように取り組んでいる。	
46		○安眠や休息の支援○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	その時々体調により、本人の希望の場所で休んでいただいている。また、夜間は室温調整にも配慮して安眠を妨げる事のないよう注意している。その時々体調により、本人の希望の場所で休んでいただいている。また、夜間は室温調整にも配慮して安眠を妨げる事のないよう注意している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	ホームで使用している薬剤については、薬剤師による勉強会を実施し理解を深めている。また、処方箋は個々の介護記録にファイルし、いつでも確認できるようにしている。ホームで使用している薬剤については、薬剤師による勉強会を実施し理解を深めている。また、処方箋は個々の介護記録にファイルし、いつでも確認できるようにしている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	利用者の好きな事、得意の分野でレクリエーションを選択したり、ドライブなどで気分転換を図っている。利用者の好きな事、得意の分野でレクリエーションを選択したり、ドライブなどで気分転換を図っている。		
49	(18)	○日常的な外出支援○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけるように支援している一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	なるべく、本人の希望に添えるように小人数での外出を計画したり、地域の行事等にも出かけるように努力している。なるべく、本人の希望に添えるように小人数での外出を計画したり、地域の行事等にも出かけるように努力している。	本人の希望に応じて、見舞いや娘宅の訪問、寺参りなどを実施している。庭先や近くを散歩したり、外気浴をするなど心がけている。本人の希望に応じて、見舞いや娘宅の訪問、寺参りなどを実施している。庭先や近くを散歩したり、外気浴をするなど心がけている。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	自己管理の可能な利用者においてはお任せしている。また、希望がある時はいつでも預かり金の中からお渡し、自由に使えるように支援している。自己管理の可能な利用者においてはお任せしている。また、希望がある時はいつでも預かり金の中からお渡し、自由に使えるように支援している。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	希望がある時はいつでも電話をかけられる体制は整っている。また、家族にあてた年賀状もなるべく自筆で書いてもらっている。希望がある時はいつでも電話をかけられる体制は整っている。また、家族にあてた年賀状もなるべく自筆で書いてもらっている。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	リビング内には、季節ごとの展示物や装飾品を飾ったり、テーブルには季節の花を飾り季節感を取り入れている。また、換気や室温調整にも配慮している。リビング内には、季節ごとの展示物や装飾品を飾ったり、テーブルには季節の花を飾り季節感を取り入れている。また、換気や室温調整にも配慮している。	広いリビングや畳間があり、明るく開放感のある作りになっている。多くのソファも配置され、音楽を聴きながら居心地よく過ごせるように工夫している。壁には、運動会の写真やちぎり絵、花などが飾られ季節感を味わうことができる。広いリビングや畳間があり、明るく開放感のある作りになっている。多くのソファも配置され、音楽を聴きながら居心地よく過ごせるように工夫している。壁には、運動会の写真やちぎり絵、花などが飾られ季節感を味わうことができる。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	広々とした空間の中で、其々が自由に自分の好きな場所でくつろげるように、家具の配置にも気を配っている。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	本人の希望に応じてベッドやタンスの位置を変えたり、換気や室温調整にも配慮して心地よく過ごせるようにしている。	部屋の入口には、大きな名札があり、全室フローリングで鏡台・写真・使い慣れた茶碗や箸・位牌など個人の思い思いの品々を持ち込むように家族に働きかけている。全居室の換気や各居室の環境に応じて、室温調整をし、居心地よく過ごせるように工夫している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	ホーム内は安心して移動が出来るように手すりが設置され、全ての部屋は段差のない作りになっている。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I.理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	日常的に理念を意識したサービスが実践できるようリビング内に大きく理念を掲げている。		
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	近隣の児童養護施設との交流会を継続し、地域の運動会等にも参加させて頂いている。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	民生員さんの会合や地域内の小中学校の職場体験等を通じて認知症への理解を深めていただいている。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	利用者の状況報告や事業所での出来事など現状をありのままに報告し様々な意見を取り入れながらサービスの向上に努めている。		
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	運営推進会議への参加を頂いたり、毎年の相談員の受け入れ等で協力体制を計っている。		
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	定期的な勉強会を実施し、事業所内の介護の現状について振り返りながら身体拘束のないケアに努めている。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	勉強会を実施し入浴時の全身状態のチェックや看護師による定期的な健康チェックをもとに身体状況の確認が相互に行えるよう注意を払っている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	包括支援センターの職員による勉強会を開催し、生活自立支援事業や成年後見制度についての知識の習得に努めて、入居者も成年後見保佐人を利用している。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	利用契約書や重要事項説明書などの書面を用意し利用者や家族の納得を頂けるよう十分な説明を行っている。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	面会時に職員との懇談会を設けたり、運営推進会議へも毎回交代で家族参加をもらい忌憚のない意見等を頂けるよう工夫している。		
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月1回のミーティング時に運営や業務に関する意見、提案を聞き検討、改善に努めている。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	半期に1度人事考課を行い勤務状況についての振り返りの機会としている。又、不定期ではあるが施設長との個人面談等を行っている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	教育研修委員会が年間計画に沿った勉強会を毎月実施し、スキルアップ研修などの外部研修にも積極的に参加している。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	合同で運動会を実施するなど交流の機会を設け、利用者への関わり方など相互に情報交換できるよう取り組んでいる。		

自己	外部	項目	自己評価		外部評価	
			実践状況	実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援 Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援 Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援						
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	地域へのドライブにさっそったり、ホーム内での役割決めやレクリエーションへの参加で徐々に馴染みの関係が築けるよう声かけしている。地域へのドライブにさっそったり、ホーム内での役割決めやレクリエーションへの参加で徐々に馴染みの関係が築けるよう声かけしている。地域へのドライブにさっそったり、ホーム内での役割決めやレクリエーションへの参加で徐々に馴染みの関係が築けるよう声かけしている。			
16		○初期に築く家族等との信頼関係○初期に築く家族等との信頼関係○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	電話でのお知らせや、面会時に職員との懇談の場を設け、利用者の現状報告とご家族からの要望を聞いている。電話でのお知らせや、面会時に職員との懇談の場を設け、利用者の現状報告とご家族からの要望を聞いている。電話でのお知らせや、面会時に職員との懇談の場を設け、利用者の現状報告とご家族からの要望を聞いている。			
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	情報提供書などをもとに、本人の身体状況などの把握に努め、本人の意思を確認した上で必要なサービス、リハビリ等の利用も支援している。情報提供書などをもとに、本人の身体状況などの把握に努め、本人の意思を確認した上で必要なサービス、リハビリ等の利用も支援している。情報提供書などをもとに、本人の身体状況などの把握に努め、本人の意思を確認した上で必要なサービス、リハビリ等の利用も支援している。			
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	朝の清掃や食事の支度、洗濯など一緒にするだけでなくレクリエーションやテレビなどの囲らんも大切にしている。朝の清掃や食事の支度、洗濯など一緒にするだけでなくレクリエーションやテレビなどの囲らんも大切にしている。朝の清掃や食事の支度、洗濯など一緒にするだけでなくレクリエーションやテレビなどの囲らんも大切にしている。			
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	年3回の家族会参加の呼びかけや懇談会、必要時の電話連絡などで情報交換し利用者と共に支えていく関係を築いている。年3回の家族会参加の呼びかけや懇談会、必要時の電話連絡などで情報交換し利用者と共に支えていく関係を築いている。年3回の家族会参加の呼びかけや懇談会、必要時の電話連絡などで情報交換し利用者と共に支えていく関係を築いている。			
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	電話での会話や本人の望む場所への個別外出などを実施し、受診やリハビリの際にも地域の方との会話を楽しめるよう支援している。電話での会話や本人の望む場所への個別外出などを実施し、受診やリハビリの際にも地域の方との会話を楽しめるよう支援している。電話での会話や本人の望む場所への個別外出などを実施し、受診やリハビリの際にも地域の方との会話を楽しめるよう支援している。			
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者が同士の関わり合い、支え合えるような支援に努めている	個室に引きこもることなく出来るだけ共有のリビングで過ごせるよう声かけレクリエーションなども相互に関われるよう時々席を替えたりしている。個室に引きこもることなく出来るだけ共有のリビングで過ごせるよう声かけレクリエーションなども相互に関われるよう時々席を替えたりしている。個室に引きこもることなく出来るだけ共有のリビングで過ごせるよう声かけレクリエーションなども相互に関われるよう時々席を替えたりしている。			

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	入院などで退所になった利用者様については職員がその後の状況をご家族に電話等で尋ねたりお見舞いに行ったりしている。入院などで退所になった利用者様については職員がその後の状況をご家族に電話等で尋ねたりお見舞いに行ったりしている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメントⅢ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日常の会話の中や検討会等で利用者の思いと現状について話し合い出来るだけ本人の意向に沿ったケアの実践を目指している。日常の会話の中や検討会等で利用者の思いと現状について話し合い出来るだけ本人の意向に沿ったケアの実践を目指している。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	サービス提供の中で感じた疑問等については、本人や家族に尋ねながらこれまでの暮らし方、生活環境の把握に努めている。サービス提供の中で感じた疑問等については、本人や家族に尋ねながらこれまでの暮らし方、生活環境の把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	バイタルチェック表や介護記録には職員全員が必ず目を通し利用者の心身状況の現状把握に努めている。バイタルチェック表や介護記録には職員全員が必ず目を通し利用者の心身状況の現状把握に努めている。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	検討会やサービス担当者会議を開催し、本人や家族からの要望等を踏まえた介護計画書の作成を行っている。検討会やサービス担当者会議を開催し、本人や家族からの要望等を踏まえた介護計画書の作成を行っている。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	介護日誌に日々の心身状態、気づきを解りやすく記入。それぞれの担当者が月別の経過表を作成小さな変化や問題がわかりやすいよう工夫し、評価、介護計画の見直しに生かしている。介護日誌に日々の心身状態、気づきを解りやすく記入。それぞれの担当者が月別の経過表を作成小さな変化や問題がわかりやすいよう工夫し、評価、介護計画の見直しに生かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	必要に応じて居宅支援事業所や介護事業所との意見交換を行い、適切な介護サービスの提供が出来るよう努めている。必要に応じて居宅支援事業所や介護事業所との意見交換を行い、適切な介護サービスの提供が出来るよう努めている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域ボランティアの受け入れや地域運動会、文化祭への参加等楽しみを持ってよう支援し、駐在所や消防分遣隊との協力関係も築いている。地域ボランティアの受け入れや地域運動会、文化祭への参加等楽しみを持ってよう支援し、駐在所や消防分遣隊との協力関係も築いている。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	隣接した病院での定期受診のほか、緊急時などは、ご家族と協力し主治医、専門医などその都度適切な受診が行えるよう支援している。		
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	週1回、看護師による利用者の問診を実施、バイタルチェック表の記録をもとに身体状況についての相談を行い日常的な健康管理が出来ている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	利用者の入院時には、書面で心身の状態報告を行いその後についても相互の情報交換に努めている。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	いつでも医師や看護師に相談できる体制が整えられており、出来るだけ本人や家族の希望に添えられるよう支援している。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	消防機関の協力で職員は普通救命講習を受講。緊急対応マニュアルを常備し定期的な勉強会を開催している。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回は火災避難訓練を実施し、噴火を想定した防災訓練に参加、災害に対する勉強会等も行っている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	ゆっくりと優しい声かけを実践できるよう職員相互に注意を払っている。排泄等についてもプライバシーを侵害しない様心掛けるようになった。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	個々の理解力に合わせた言葉かけや傾聴を心掛け物事の選択の場面では出来るだけ本人の自己決定が出来るよう支援している。個々の理解力に合わせた言葉かけや傾聴を心掛け物事の選択の場面では出来るだけ本人の自己決定が出来るよう支援している。個々の理解力に合わせた言葉かけや傾聴を心掛け物事の選択の場面では出来るだけ本人の自己決定が出来るよう支援している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたか、希望にそって支援している	体調を考慮しながら個別の外出で気分転換を図ったり、レクリエーションや食事等についても個々のペースに合わせた支援を心掛けている。体調を考慮しながら個別の外出で気分転換を図ったり、レクリエーションや食事等についても個々のペースに合わせた支援を心掛けている。体調を考慮しながら個別の外出で気分転換を図ったり、レクリエーションや食事等についても個々のペースに合わせた支援を心掛けている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援しているその人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援しているその人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	食後や外出時など特に衣服の汚れなどに注意を払っている。また、その時々に合わせておしゃれが楽しめるよう支援している。食後や外出時など特に衣服の汚れなどに注意を払っている。また、その時々に合わせておしゃれが楽しめるよう支援している。食後や外出時など特に衣服の汚れなどに注意を払っている。また、その時々に合わせておしゃれが楽しめるよう支援している。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	見た目も彩りよく、食材の大きさも個々に工夫している。また、野菜の下ごしらえや台拭き、配膳下膳を手伝っていただき皆が揃って食事を楽めるよう努めている。見た目も彩りよく、食材の大きさも個々に工夫している。また、野菜の下ごしらえや台拭き、配膳下膳を手伝っていただき皆が揃って食事を楽めるよう努めている。見た目も彩りよく、食材の大きさも個々に工夫している。また、野菜の下ごしらえや台拭き、配膳下膳を手伝っていただき皆が揃って食事を楽めるよう努めている。		
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事と水分の摂取状況を記録し好き嫌いや体調に応じた食事、水分摂取量の少ない場合は好みの飲み物の提供を行っている。食事と水分の摂取状況を記録し好き嫌いや体調に応じた食事、水分摂取量の少ない場合は好みの飲み物の提供を行っている。食事と水分の摂取状況を記録し好き嫌いや体調に応じた食事、水分摂取量の少ない場合は好みの飲み物の提供を行っている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	就寝時は入れ歯洗浄剤を使用したりしているが毎食後の口腔ケアは十分とはいえず、今後も努力していきたい。就寝時は入れ歯洗浄剤を使用したりしているが毎食後の口腔ケアは十分とはいえず、今後も努力していきたい。就寝時は入れ歯洗浄剤を使用したりしているが毎食後の口腔ケアは十分とはいえず、今後も努力していきたい。		

自己	外部	項目	自己評価		外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容	
43	(16)	○排泄の自立支援○排泄の自立支援○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレで	個々の生活リズムに合わせたトイレ誘導を実践し失禁や失敗による不快感が軽減できるよう支援している。又、本人の力量に合わせ出来ない部分を介助するよう心掛けている。個々の生活リズムに合わせたトイレ誘導を実践し失禁や失敗による不快感が軽減できるよう支援している。又、本人の力量に合わせ出来ない部分を介助するよう心掛けている。個々の生活リズムに合わせたトイレ誘導を実践し失禁や失敗による不快感が軽減できるよう支援している。又、本人の力量に合わせ出来ない部分を介助するよう心掛けている。			
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排泄の記録をもとに便秘解消の為の運動や牛乳の飲用、下剤の調整を行っている。排泄の記録をもとに便秘解消の為の運動や牛乳の飲用、下剤の調整を行っている。排泄の記録をもとに便秘解消の為の運動や牛乳の飲用、下剤の調整を行っている。			
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	本人の体調に合わせて週3回以上は入浴できるよう工夫し、入浴時は個別に会話を楽しめる時間となるよう努めている。本人の体調に合わせて週3回以上は入浴できるよう工夫し、入浴時は個別に会話を楽しめる時間となるよう努めている。			
46		○安眠や休息の支援○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	寝具類の清潔保持を徹底し、休息の場所や体勢室温調整にも配慮しながら、夜間の安眠を妨げる事のないよう注意している。寝具類の清潔保持を徹底し、休息の場所や体勢室温調整にも配慮しながら、夜間の安眠を妨げる事のないよう注意している。			
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	ホームで使用されている薬剤について薬剤師による勉強会を実施、処方箋も個々の記録にファイルしいつでも用途や副作用について確認できるようにしている。ホームで使用されている薬剤について薬剤師による勉強会を実施、処方箋も個々の記録にファイルしいつでも用途や副作用について確認できるようにしている。			
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	園芸活動や家事参加を促しそれぞれが出番を見いだせるよう支援している。又、楽しみや気分転換が図れるようボール遊びや歌などのレクリエーションを実施している。園芸活動や家事参加を促しそれぞれが出番を見いだせるよう支援している。又、楽しみや気分転換が図れるようボール遊びや歌などのレクリエーションを実施している。			
49	(18)	○日常的な外出支援○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	職員は、小グループでの外出を計画したり、個別の買い物など日常的な外出も支援しているが、もう少し家族との外出の機会を増やせるよう声かけていきたい。職員は、小グループでの外出を計画したり、個別の買い物など日常的な外出も支援しているが、もう少し家族との外出の機会を増やせるよう声かけていきたい。			

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	原則として職員管理ではあるが、必要に応じてお金を渡し、本人の望みの買い物が出来るよう支援している。原則として職員管理ではあるが、必要に応じてお金を渡し、本人の望みの買い物が出来るよう支援している。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	贈り物のお礼など本人の希望時には電話での会話が楽しめるよう支援、家族にあてた年賀状なども書いてもらっている。贈り物のお礼など本人の希望時には電話での会話が楽しめるよう支援、家族にあてた年賀状なども書いてもらっている。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	リビング内には、季節ごとの展示物や装飾品が飾られ、換気や適切な室温調整が行われている。また、自由にテレビを見たり好きな音楽が聴けるなど心地よく過ごせる空間作りが出来ている。リビング内には、季節ごとの展示物や装飾品が飾られ、換気や適切な室温調整が行われている。また、自由にテレビを見たり好きな音楽が聴けるなど心地よく過ごせる空間作りが出来ている。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビング、和室とソファが配置され個々に好きな場所でくつろげるように工夫している。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	写真を置き、本人の希望に応じてベッドやタンスの位置を変えたり、換気や明るさ室温調整にも配慮し心地よく過ごせるようにしている。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	ホーム内は安心して移動できるよう手すりが設置され、居室入口には名札や解りやすい目印が施してある。		